

計画の位置付け

(例) まち・ひと・しごと総合戦略を上位計画とする。10年後に目指す姿と数値目標を掲げ、それを実現するための4年間の計画とする。

現状と課題

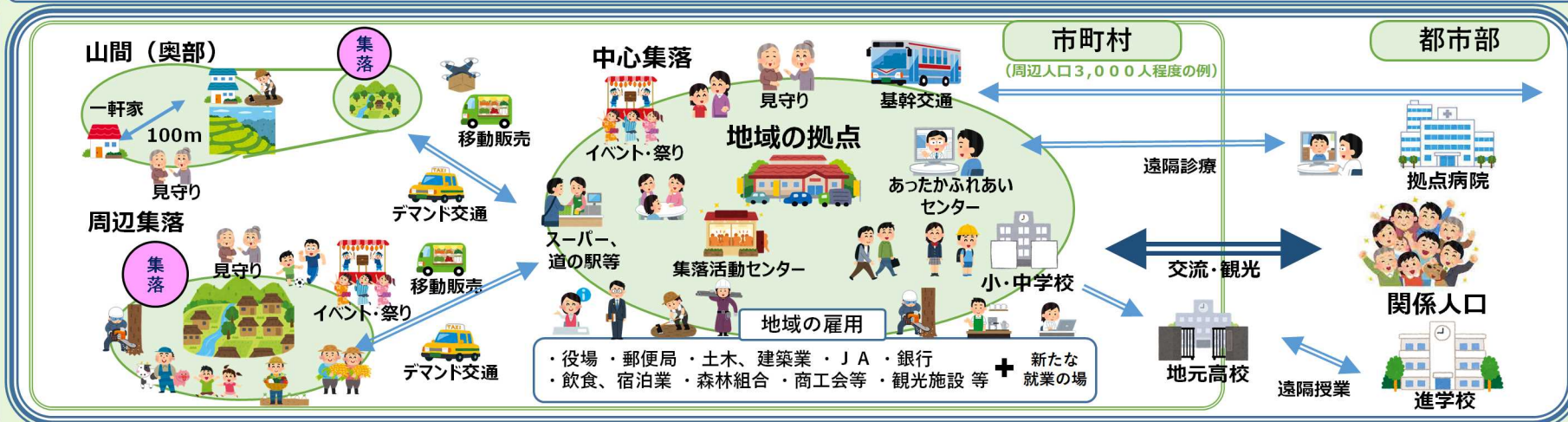
(例) これまでの取組と成果、関連データ(集落調査の内容、人口・高齢化率の推移等)の分析

目指す
将来像
(10年後)

(例) 地域に若者が増えた持続可能な人口構造のもと、地域で安心して生活ができる環境が維持され、地域に多様な仕事があり、誰もが将来に希望を持って暮らし続けることができる、活力ある中山間地域

将来ビジョン (10年後)

上記のイメージ



柱1 くらし

柱2 活力

柱3 しごと

第1策

生活環境づくり

(例) 飲料水や生活用品、移動手段等、暮らし続けることができる生活環境が維持されている。

第2策

安全・安心の確保

(例) 地域での見守り機能が維持され、医療・福祉サービスへのアクセスが確保されている。

第3策

集落活動センターの推進

(例) 集落活動センター等、地域運営組織が主体となった集いや生活支援、経済活動等の取組が行われている。

第4策

小さな集落の活性化

(例) 個々の集落においても、住民主体でイベントやお祭り等様々な活動が行われている。

第7策

基幹産業の振興

(例) 一次産業の振興等により、地域の就業者や雇用の場が増え、収入も増加している。

第8策

新たな生業、仕事の創出

(例) 起業や継業等雇用以外の就業の場が創出され、地域の若者がそれを発展・拡大させている。

第6策

デジタル技術の活用

(例) 高速通信網が整備され、遠隔医療や遠隔教育等デジタル技術を活用したサービスが受けられる。

第5策

中山間の人づくり

(例) 県外からの移住や地元での定住が進み、中山間地域の若者(34歳以下)が増加している。また、地域内で学び働ける環境が整っている。

数値目標

・遠隔診療実施市町村
○市町村 ⇒ ○市町村
・公共交通空白地の解消

・人口社会増の達成

・中山間地域の若者の人口
○人 ⇒ ○人

・地元高校への進学率向上
○% ⇒ ○%

・光ファイバー世帯カバー率
○% ⇒ 99.9%

・就業人口の増加
○人 ⇒ ○人

・生活用水供給施設整備
○カ所 ⇒ ○カ所
・鳥獣被害額 約1億円 ⇒ ○円

・あったか等での遠隔医療 ○カ所
・あったか整備 ○カ所 ⇒ ○カ所

・集落活動センター 65カ所 ⇒ ○カ所

・集落活性化事業の実施集落 ○カ所 ⇒ ○カ所

・4年後の人口社会増達成 ○市町村
・4年後の若年層比率増加 ○市町村
・地域おこし協力隊 216人 ⇒ 500人
・移住者 ○組 ⇒ ○組

・4年後の光ファイバー世帯カバー率
○% ⇒ ○%

・就業者数増加 ○市町村
・一次産業就労者所得 ○円 ⇒ ○円

・地域アクションプランによる雇用創出 ○人
・特定地域づくり組合 2カ所 ⇒ ○カ所

アクションプラン (4年間)

4年後のKPI